

# 111 海洋環境の激変に適応した持続可能な水産加工流通拠点モデル化実装事業

令和9年度予算概算要求額 8,001百万円（前年度－）

### <対策のポイント>

海洋環境等の激変により加工原材料となる様々な魚種の漁獲海域や水揚量が大きく変化する中で、日本全国いずれの地域で水揚げされても水産加工業が対応できるよう、**拠点漁港等の周辺地域において水産業を支える水産加工業の拠点化・集約化**を重点的に進め、**新規参入も含めて強靱な加工流通体制を構築**するため、先進的なモデル地域づくりの取組を推進します。

### <事業目標>

モデル地域の水産物の出荷量5%向上

### <事業の内容>

#### 1. 拠点化・集約化モデル計画策定事業

387百万円（前年度－）

強靱な水産加工流通体制を構築するため、地域で立ち上げた協議会が、地域の課題解決に資する拠点化・集約化モデル計画を策定するために必要な、以下の取組を支援します。

- ①専門知識を有するアドバイザーによる指導
- ②地域の合意形成等に必要な協議会や会議の開催、勉強会の開催、先進地の視察
- ③策定した拠点化・集約化モデル計画の検証

#### 2. 拠点化・集約化モデル計画実装事業

7,613百万円（前年度－）

認定された拠点化・集約化モデル計画を実装するため、水産物加工処理施設や冷凍施設、廃棄物処理施設等の整備、生産性を向上する取組に必要な加工処理機器の導入、強靱な加工流通体制を構築するためのソフト・ハードの取組を一体的に支援します。

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

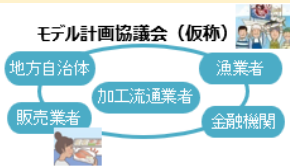
#### 1. 拠点化・集約化モデル計画策定事業

- ・アドバイザーによる指導
- ・会議や勉強会の開催、先進地の視察
- ・策定した拠点化・集約化モデル計画の検証



#### 【計画のイメージ】

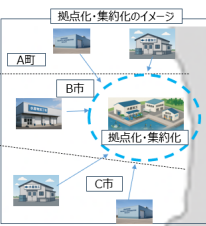
- ・海洋環境激変による原材料変化に対応する取組
- ・人手不足の解消・省力化の取組
- ・水産加工業者等の後継者不足解消の取組等



#### 2. 拠点化・集約化モデル計画実装事業

#### 【計画実装のイメージ】

- ・加工施設の拠点化・集約化
- ・水産物加工処理施設や冷凍施設の整備
- ・廃棄物処理施設等の整備
- ・加工処理機器の導入等



海洋環境の激変に適応した  
持続可能な水産加工流通拠点モデルの構築

【お問い合わせ先】 水産庁加工流通課（03-3591-5612）